

# 「坂リンピックについて」

【坂本小学校で大切にしていること】

坂リンピック→高みを目指す！ なわとびカード→裾野を広げる！

一部の児童でなく、得意不得意に関わらず、

学校全体(先生も含めて)を巻き込んで盛り上げる!!

大会を盛り上げる 手立て① 児童の積極的な姿を全校に広める 充実した掲示物



分間前とび	1分間つぼめ	1分間三重とび
エントリー数 44人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 161/88 179/193 246/67 7人 12人 3人 7人 8人 2人	エントリー数 3人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 3084/64 1人 1人 1人 4人	エントリー数 1人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 2/ 1人 3人
1分間後ろとび	1分間はやぶさ	目指せ! 全員中級!!
エントリー数 6人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 131/16 165 4人 2人 1人 1人	エントリー数 3人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 6 48/34 1人 1人 1人 2人	目指せ! 全員中級!! なわとびカードでそれぞれの腕をクリアしたら先生に学年のシールをもらって名前を書いてはげまそう!! シールをくれる先生 もした先生・いわさ先生・やまぐ先生・まつもと先生 1年 2年 3年 4年 5年 6年
1分間前あやとび	1分間前二重とび	
エントリー数 7人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 48/57 78 3人 4人 2人	エントリー数 27人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 89/110 82/22/118 7人 3人 2人 6人 4人	
1分間後ろあやとび	1分間後ろ二重とび	
エントリー数 10人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 63/92 96/76 64 4人 1人 2人 2人 2人	エントリー数 5人 1年 2年 3年 4年 5年 6年 39 53/54 3人 1人 1人	

大会を盛り上げる 手立て② 「やってみようかな?」と思えるような配布物の工夫

初級→中級→上級→名人→達人→大名人→鉄人

**なわとびカード** てっじん  
めさせ! なわとびの鉄人!



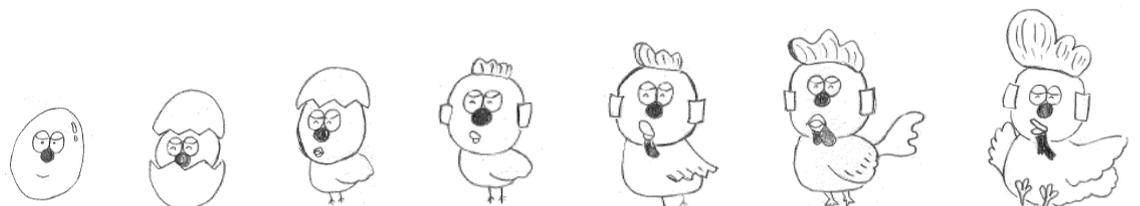
しよきゆうへん  
**<初級編>**

ねん	くみ
なまえ	

レベル	わざ	回数	合かく
1	前りよう足とび	10	
2	前りよう足とび	30	
3	後ろりよう足とび	5	
4	後ろりよう足とび	20	
5	前かた足とび (右10・左10)	10	
6	後ろかた足とび (右10・左10)	10	
7	前かけ足とび	10	
8	前あやとび	10	
9	前こうさとび	5	
10	前あやとび	15	



- 級が上がるごとに、イラストが進化していき、カードや縄跳びの持ち手に級ごとに色の違うシールを貼ることができるようになる。
- 学年ごとに色の違うシールを全校共通の掲示物「なわとびの鉄人への道!」に貼ることができるようになる。
- 初級カードの数字を低く設定する。
- いつでも児童らがカードを取れるように置いておく。



## 【坂リンピック開催までの流れ】

- 9月 職員会議提案
- 11月中旬 エントリー開始
- 参加条件：①本校児童であること  
②大会標準記録をこえていること  
③出場は、各種目全校で22名とし、エントリーの記録上位10名と  
出場が決まった児童を抜いた各学年上位2名ずつの者であること  
④参加を希望していること  
\*①～④をすべて満たしていること。
- 大会直前 出場者を職員室前の廊下掲示でお知らせする。  
大会の事前説明会を実施する。
- 12月上旬 1日目 12:35 に集合。12:45 競技スタート 13:15 競技終了  
→前とび、後ろ跳び、つばめ跳び、はやぶさ
- 2日目 12:35 に集合。12:45 競技スタート 13:20 競技終了  
→あや跳び、後ろあやとび、三重跳び、後ろ二重跳び、二重とび

## 【坂リンピックの成果と課題】

### 成果

- 1 校内のなわとび大会だけではなく、「大津スーパートライ」を目標とする児童が増えたこと
- 2 汗をかくぐらい一生懸命取り組む児童が増えたこと
- 3 委員会の児童らにとって達成感を感じられる大会となったこと

### 課題

- 1 学校全体の記録が伸びてきているため、縄跳びが苦手な児童らの参加意欲が低いこと
- 2 1の児童らへの具体的な手立てがないこと
- 3 大会運営、日々の測定などに関わる教職員の仕事の分業が不十分であること

